

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習 II		
担当者(Instructors)	伊藤 数馬	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

体育科教育や子どもの健康（運動遊び）等についての研究テーマに沿って、持続的に追求し、結果をまとめ全体場で発表を行う。大学祭に向けて企画し実践することにより、仲間と協働する人間関係能力を養う。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	研究に必要な基礎知識、技能を学び、ワークショップの企画・実施についてはグループワークを中心に行う。ゼミ研究では、ディスカッションやディベートを通して考察を深め、成果をまとめプレゼンをする。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	履修登録の確認やシラバスの説明、大学祭の企画案内、履修カルテの説明を行う。	<input type="checkbox"/>
第2回	前期の成果の検討と今後のゼミ研究の予定	前期の研究成果をまとめた個人レポートの発表交流により、研究実践の成果を整理し、後期の課題を確認する。	<input type="checkbox"/>
第3回	ゼミ研究活動：担当箇所分担 大学祭ワークショップの企画・立案	研究計画に沿って、担当箇所をゼミ内で分担する。子ども参加型ワークショップの企画を立案する。	<input type="checkbox"/>
第4回	ゼミ研究活動：資料の収集	研究計画に沿って、担当グループごとに資料の収集・先行文献の再調査を行う（グループワーク）。	<input type="checkbox"/>
第5回	大学祭ワークショップの準備（1）	子ども参加型ワークショップの準備をする。	<input type="checkbox"/>
第6回	大学祭ワークショップの準備（2）	子ども参加型ワークショップの準備・当日の計画や担当を決める。	<input type="checkbox"/>
第7回	大学祭ワークショップ実践（1）	子ども参加型ワークショップを実践する。	<input type="checkbox"/>
第8回	大学祭ワークショップ実践（2）	子ども参加型ワークショップの成果と課題を個々に整理を行う（レポート作成）。	<input type="checkbox"/>
第9回	研究講話	研究者から、研究テーマの設定やプロセスなどについて講話を聞き、研究の魅力や概要を知る（レポート作成）。	<input type="checkbox"/>
第10回	ゼミ研究活動：結果の整理	研究計画に沿って、担当グループごとに結果の執筆をする（グループワーク）。	<input type="checkbox"/>
第11回	ゼミ研究活動：総合考察	研究計画に沿って、担当グループごとにまとめた調査結果から、ディスカッションにより総合考察を行う。	<input type="checkbox"/>
第12回	研究発表資料の作成	研究発表資料を作成する。	<input type="checkbox"/>
第13回	研究発表パワーポイントの作成	研究発表パワーポイントを作成する。	<input type="checkbox"/>
第14回	研究発表の準備	研究発表の準備をする。	<input type="checkbox"/>
第15回	研究発表(研究成果の発表)	研究発表会で、研究成果を発表し意見交流する。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

・事前学習として、次回の授業テーマに関する内容について予習する（2時間程度）。・事後学習として、授業でわかったことや疑問に思うことなどをノートに整理するとともに、出された課題レポートをまとめる（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

出されたレポートは添削して返却する。その上で、全体で共有する機会を持つ。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)		
区分 (Division)	DP区分 (DP division)	内容 (DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	資料収集や調査方法の手法を理解し、それらの結果をもとに自分の考えを構築したり修正したり深めたりできる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	授業の討議に参加し自分の考えを根拠をつけて述べることができ、ゼミ研究の成果をプレゼンすることができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	自らの関心に基づき、文献・資料・データを収集して問題点を指摘することができ、仲間と協働してワークショップの計画・実践に取り組むことができる。

■成績評価 (Evaluation method)				
筆記試験 (Written exam)	実技試験 (Practical exam)	レポート試験 (Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他 (Other)
			50%	50%
授業内試験等 (具体的内容) (Specific contents) 授業内で扱ったテーマについて、概要を調査し、自分の考えをまとめ、レポートを作成する。				

■テキスト (Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	必要に応じて講義時に配布する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書 (references books)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	必要に応じて講義時に紹介する。	
2		
3		
4		
5		